

令和6年度県立学校等チャレンジ・プロジェクト【特別枠】報告

1. 目的
 - ①学福連携事業として、製造許可や製造所を持たない福祉事業者と連携し、業務委託の形をとりながら食品製造を行い、製造技術を身につけるとともに、地域連携を図る。
 - ②2学校間連携事業として加工施設を有しない学校で出る商品にならない農産物を有効活用し、ジャムの製造を行い、学校間連携を図る。
 - ③学商連携事業として那珂市商工会等の団体と新しい商品開発と、自分たちの技術を伝承する技術を身につける。
2. 日時
 - ①10月3日（木）ブルーベリージャム製造 実施
 - ②11月12日（火）ローゼルリングジャム製造 実施
 - ③11月19日（火）ローゼルリングジャム製造 実施
3. 参加生徒
 - ①食品化学科1年生
 - ②・③食品化学科2年生
4. 生徒感想
 - ①自分たちが圃場で栽培したブルーベリーでジャムの製造もおこなったが、外部から委託されて製造するジャムは更に責任を感じて緊張した。自分たちがジャムを製造して販売できるという加工施設を生かしていることを実感した。
 - ②太子清流高校で栽培されたリンゴと、水農生活科学科で栽培したローゼルを使用して食品化学科がジャムを作るという、様々な学校や学科が協力して商品を作り上げているのがとても面白いと思った。学校や学科の特徴を生かした商品開発を今後もしたいです。
 - ③那珂市商工会の方々とローゼルジャムを作り、いつもは先生に教えてもらっている立場ですが、今回は自分たちが教える立場となって一緒にジャムづくりをしました。教えたり、説明する難しさを実感しました。途中で一緒に味見をしながら、依頼者側の理想のジャムに近づけていく行程もとても勉強になりました。

